

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510
TEL : 0838-21-7765
e-mail : hg-geo@city.hagi.lg.jp
HP : <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hg-geo/>

発行：萩ジオパーク構想推進協議会 事務局

萩ジオパーク認定のための申請書の提出を終えて

事務局長 福島康行

4月14日(木)、特定非営利活動法人日本ジオパークネットワークに対し、日本ジオパークの認定申請(正会員加盟申請)を行いました。来る5月21日(土)には、日本ジオパーク委員会公開プレゼンテーションに臨み、7~8月には、いよいよ現地での審査が行われます。

これまでの学習会や出前講座を通じて「ジオパークとは何か」ということや「遺産としての大地の魅力」、「大地のめぐみ」等についてお伝えしてまいりました。その中で、究極の目標とするところは「ジオパーク活動による持続可能な地域づくり」です。そのためには、ジオパーク活動を通じて、私たち自身が楽しみながら、新たなふるさとの魅力を発見し、ふるさとへの誇りを育て、次代にしっかりと受け継いでいく方策を考え、そのための仕組みをつくらなければなりません。同時に、ジオパークが外から訪れる人にとって、大地の遺産に直接触れ、見たり聞いたりし、歴史・生活・食・文化などを通して、地球の多様な物語を学び楽しむことができる場所でなければなりません。訪れて「楽しい」と感じられるようにお迎えし、ふるさと萩の魅力を存分に伝えていくことが大切です。

認定申請書を提出し、次のステップに移るに当たり、あらためて皆様とジオパーク活動に取り組む思いが1つにできればと思います。



(ジオサイト：笠山での現地学習会)



(萩東中学校公開講座での出前授業)



萩ジオパーク構想

ロゴマーク

皆さん、こんにちは。4月の萩市組織改変で「ジオパーク推進室」は「ジオパーク推進課」になりました。課への昇格と同時に、異動で参りました景由(かげゆ)と申します。異動早々に、尾池和夫先生の「ジオパーク講演会」が開催され、当日は約300人もの来場者がありました。参加された皆様には厚くお礼を申し上げます。

現在、日本ジオパーク認定に向けて申請書を提出したところです。今後は、5月のプレゼンテーションを経て、夏には現地審査が始まります。認定に向けて、私も微力ながらサポートしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ジオパーク推進課 ジオパーク推進係長 景由孝雄

萩高校科学部がイラオ火山灰観察施設をクリーニング作業

「見違えるように、地層がよみがえりました！」

3/31 (木) 9:00~17:00

萩高校科学部から、「イラオ火山灰観察施設を、是非ともクリーニングしたい」という申し出があり、科学部の生徒8人、顧問の先生2人と実施しました。2時間ちかく、生徒たちは休憩もすることなく、熱心に観察施設のクリーニング作業に取り組みました。火山噴火の様子が分かる新鮮な地層面が徐々に現れてくると、生徒たちの驚きの声があがりました。クリーニングの後、伊藤靖子推進室次長から火山灰層の詳しい説明を受け、昼食後は、豊ヶ淵・猿屋の滝・龍鱗郷・上の原など「龍が通った道」を観察しました。参加した生徒からは、「地層のクリーニングの手伝いなど、普段なら絶対にできない貴重な体験ができて良かった」「萩の大地の生い立ちについて、実際の場所で説明を聞くことによって、当時の様子が想像でき理解しやすかった」などの感想が寄せられました。



(観察施設のクリーニング作業)



(豊ヶ淵で説明を聞く生徒たち)

ジオパーク講演会 4/7 (木) 講師：尾池和夫先生 (日本ジオパーク委員会委員長) テーマをもって売り込むこと、その際、「食べる」ことはポイントの1つ

講演会場は、約300名の市民の皆さんでいっぱいになりました。講演では、日本ジオパーク委員会委員長を務める尾池和夫・京都造形芸術大学長を講師に迎え、登録認定に向けてのヒントなどをお聴きしました。講演に先立ち、萩のジオサイトを紹介したビデオが上映されました。このビデオは、萩市出身の画家・松林桂月(1876-1963)の孫にあたる松林明さん(有限会社アンタス代表)が撮影・編集したものです。尾池委員長は、先ず「自然は芸術であり、日本は多様な地質をもつ。ジオの多様性は大地の多様性でもある」と話を始め、最近のジオを巡るニュース、ジオの歴史、日本や世界のジオパークの紹介をしながら、内容を進めていきました。その中で、昨年11月にジオパークの取組がユネスコの正式プログラムに認められた意義に触れました。また、既存の天然記念物、国立公園、世界遺産などとジオの活動が連携することの大切さを、これからの旅行は「着地型」と呼ばれる地元を誇りをもつ人が企画しおもてなしをする旅が主流になること、ジオパーク活動を防災教育に役立てること等を話されました。そして、書類審査で指摘された問題点をその後の現地審査に生かすこと、萩らしいテーマを決めて売り込むこと、その時「食べる」ことはポイントの1つになることも強調されました。最後に、「地球社会の調和ある共存こそ、ジオパークのめざすところ」という言葉で講演を終えました。

(右写真：講演に聴き入る参加者の皆さん)



5月の予定

- 萩ジオパーク構想推進協議会総会 5月12日(木)、15:00~16:00、会場：萩博物館講座室
- 第27回ジオパーク委員会 認定プレゼンテーション (世界2地域 日本7地域) 5月21日(土)、9:00~15:00、会場：幕張メッセ
- 中央歴史講座「萩ジオパーク構想について」、5月27日(金)、10:00~12:00、中央公民館

認定プレゼンテーションを見学しませんか！ 旅費は自己負担となります。翌22日(日)に同会場で、各ジオパークの取組の発表会が開催されます。詳細は事務局(0838-21-7765)にお問い合わせください。